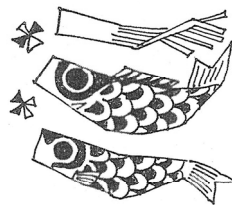


農業



平成23年5月号

会誌 No. 1546

目次

巻頭言

大震災の混乱から……………染 英昭 3

論壇

新たな「希望の場所」づくり……………祖田 修 4
－東日本大震災に思う－

先進農業者懇談会

大規模園芸に取り組む…………… 6
－平成22年度第2回先進農業者懇談会から－

冒頭説明

葉とらずりんごで大規模経営を確立……………清野 俊博 7

多様な野菜作による大規模経営……………本多 敏光 12

座長からの質問と論点整理…………… 15

農業技術開発研究会

生命を基本におく社会に向けて－生命誌から考える－…………… 18

－「第7回今後の農業技術開発・普及機能のあり方に関する研究会」(第2部)－

意見交換

生命誌－機械から生命へ

生命を基本におく社会

昆虫の生命誌上の特性

植物の生命誌上の特性

子どもたちから価値観を変える

ライフステージとバイオストーリー

地域農業交流セミナー

- 6次産業化による農山漁村の活性化に向けて……………岡田 知弘 31
－6次産業化と地域の持続的発展－
経済のグローバル化と日本の農山漁村地域の疲弊
地域の持続的発展＝地域づくりの必要性が高まる時代
なぜ、今、6次産業化による地域づくりが必要なのか
地域づくりの実例から学ぶ

農事功績者座談会

- 輪作、減農薬に配慮した大規模多品目野菜経営…………… 49
－遊休農地の活用と土づくり－
私の経営と農業への思い……………三浦 正美 49
現地指導者のコメント……………浅沼 一也 55
質疑・討論…………… 57

農業・農村の現場から

- 農業を起点とした長野県東部地域の農商工連携……………滝澤 恵一 71

世界の農業は今

- アメリカから見た世界の農業…………… Tai T. Takehara 77

統計情報…………… 83

集落営農実態調査結果の概要（平成23年2月1日現在）

農政情報…………… 84

大日本農会だより…………… 86

表紙写真説明

五月の田植え（山口県阿武町）

山口県阿武町は、県の北東部、周りを萩市に囲まれ、日本海に面した風光明媚な町である。萩市をほぼ中心として、西の長門市から東北東の益田市までの日本海海岸は、底まで見える清澄な水に恵まれ、入江、岬、河口、砂浜、断崖や、岩礁と変化に富んだ海岸美、沖には多くの鳥々を眺められる「北長門海岸国定公園」である。

阿武町の特産品は、日本海の海の幸があるが、全国でも他に例の無い、角（つの）の無い「無角和牛」やキウイフルーツの栽培、などが行われ、畜産、農業、漁業、林業が基盤の町である。阿武町にある阿武町道の駅は、道の駅発祥の地として知られ、発祥交流館が道の駅に併設されている。

町は海に面した奈古地区、宇田郷地区と山間にある福賀地区からなる。鯉のぼりが有名なのは福賀地区の蛇行する大井川に沿って泳ぐ、120匹の「福賀の鯉のぼり」で、阿武町の他の集落でもこうした風景が五月の節句ごろに見られる。

（写真提供：（社）農村環境整備センター）